

「法正尻遺跡展 1」関連文化財セミナー

ほうしょうじり
法正尻遺跡の集落構成



日 時：令和3年2月27日（土）13:00～15:00

場 所：福島県文化財センター白河館（まほろん） 講堂

日 程：13:00 第1部 法正尻遺跡の概要 松本 茂

13:40 第2部 繩文中期前半の法正尻集落 本間 宏

14:10 第3部 討 論

15:00 閉会

講師プロフィール

松本 茂（まつもと しげる） 公益財団法人福島県文化振興財団 遺跡調査部 文化財主事

【経歴】 1953年、東京都大田区生まれ。都立大森高校を卒業後、株式会社東京ガスに就職。その後、考古学への道を諦めきれず、1977年に日本大学文理学部史学科に進学。卒業後、1981年4月から財団法人福島県文化センター（現：公益財団法人福島県文化振興財団）事業第二部遺跡調査課に勤務。石川町七郎内C遺跡、飯館村岩下D遺跡、飯館村羽白C遺跡、磐梯町・猪苗代町法正尻遺跡、郡山市木村館跡、本宮市高木遺跡など、数多くの埋蔵文化財を調査。2000年4月から1年間、福島県教育庁文化課との併任により福島県文化財センター白河館の開館準備業務に従事。2001年4月から3年間白河館研修課の初代専門学芸員として市町村文化財保護行政の実務指導に当たった。2004年度以降は福島県文化振興財団遺跡調査部調査課において発掘調査を牽引し、副主幹として文化財センター整備事業を推進。定年後も文化財主事として発掘調査の最前线に立ち、後進の指導に当たっている。専門は日本考古学。

【著作】 ・『東北横断自動車道遺跡調査報告11法正尻遺跡』福島県教育委員会他 1991年
・「五箇ヶ台式から阿玉台式土器へ」『論集しのぶ考古』1996年
・「木村館の破却」『城破りの考古学』2001年 吉川弘文館
・「法正尻遺跡65号住居跡出土の繩文土器」『福島県文化財センター白河館研究紀要2001』2002年
・「粘板岩を割る」『怒涛の考古学』2005年
・「貯蔵穴から集落をみると—法正尻遺跡の調査から—」『福島県文化財センター白河館研究紀要2018』2019年 ほか多数

本間 宏（ほんま ひろし） 公益財団法人福島県文化振興財団 福島県文化財センター白河館 参事兼学芸課長

【経歴】 1962年、秋田県秋田市生まれ。1984年から財団法人福島県文化センター（現：公益財団法人福島県文化振興財団）に勤務。遺跡調査課、県文化会館、県歴史資料館を経て現職。

【著作】 ・「綱取・南境式土器」『総覧縄文土器』アム・プロモーション 2008年
・「東日本大震災と歴史資料保護活動」『被災地の博物館に聞く』吉川弘文館 2012年
・「計画的避難区域における文化遺産の保護」『ふくしま再生と歴史・文化遺産』山川出版社 2013年
・『直江兼続と関ヶ原』公益財団法人福島県文化振興財団編 戎光祥出版 2014年
・「原子力災害と博物館活動」『歴史を未来につなぐ』東大出版会 2020年
・「上杉景勝の戦い」『関ヶ原大乱、本当の勝者』朝日新書 2021年 など

第1部 法正尻遺跡の概要

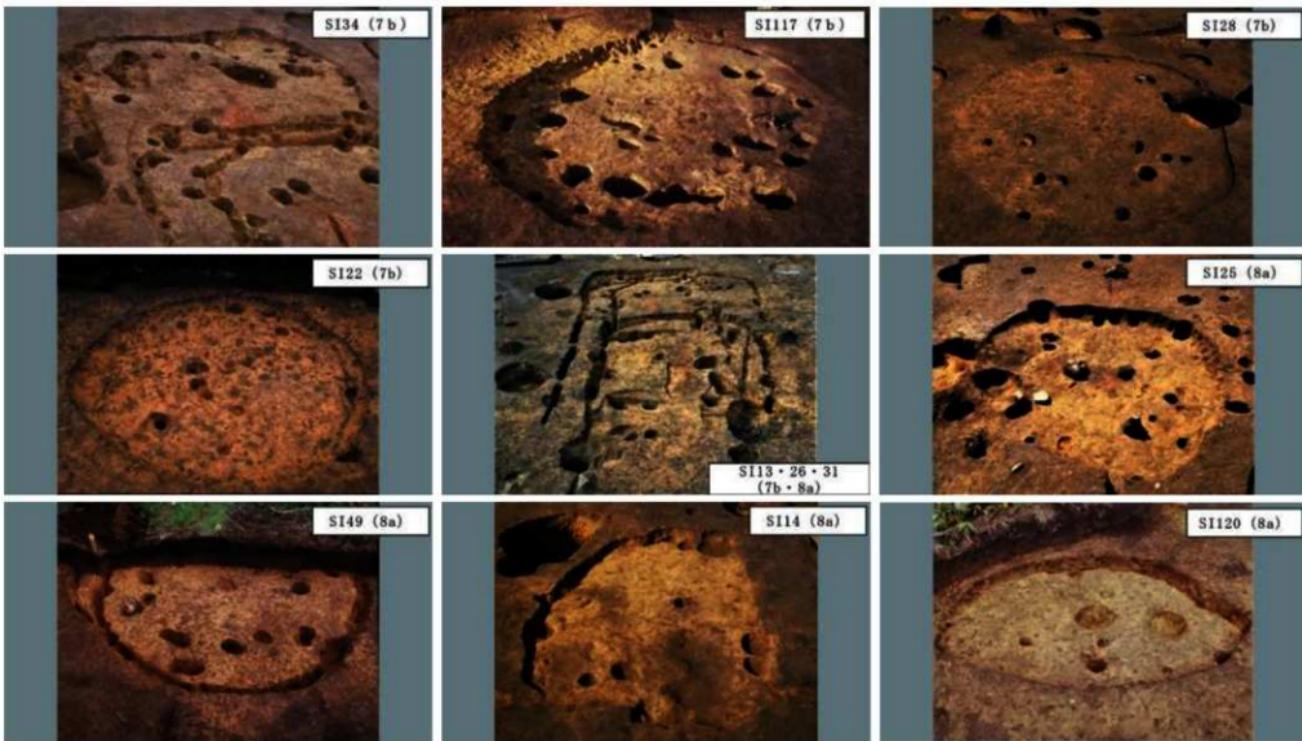
松本 茂

1 遺跡の地形と調査概要



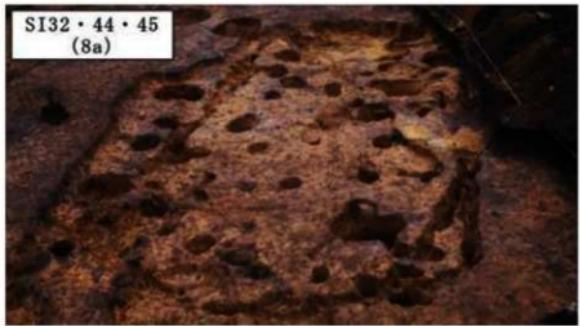
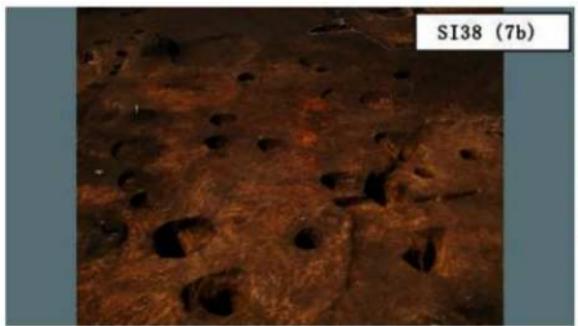
2 竪穴住居跡の特徴と変遷





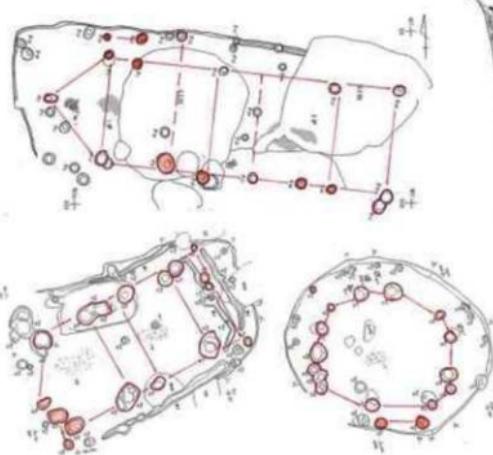


3 住居の炉とその変遷





4 住居の間取りと出入口



SI29・9・43
とおまけ

5 貯蔵穴について



第2部 縄文中期前半の法正尻集落

本間 宏

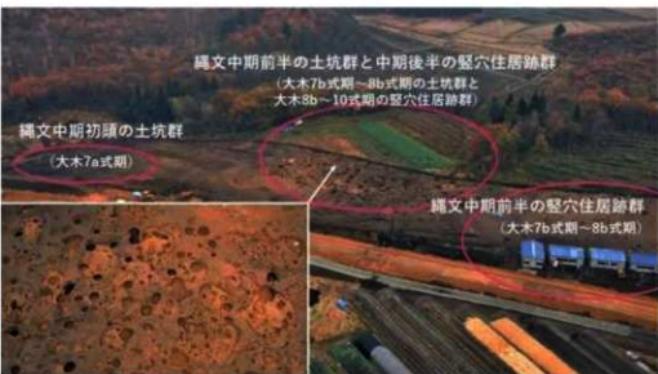
1 法正尻遺跡の年代幅

縄文時代年表

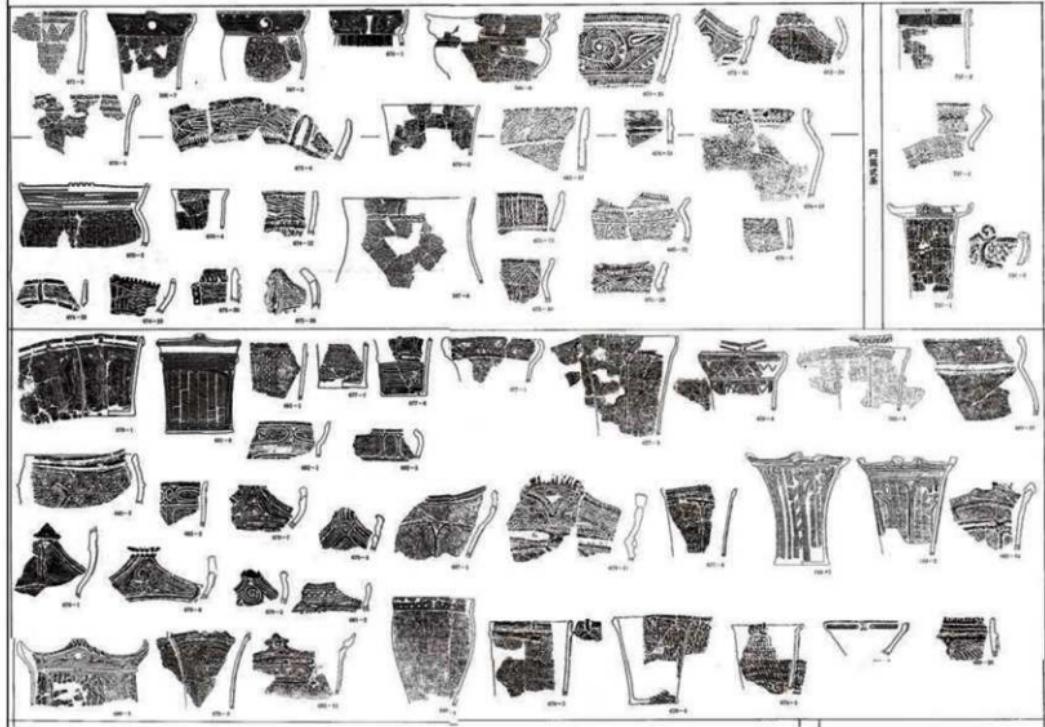
	Cal.BP	年数	土器の特徴または型式	福島県の代表的遺跡	
新石器 後期	16500 ～ 11500	5000年間	無文		
			残起縄文	高山（白河市）	前石器時代から縄文時代への移行期
			豆粒文	皆古内宿（福島市）	
			乳突文	市瀬詰原（福島市）	
			円乳文		
			多乳文		
早期	11500 ～ 7000	4500年間	薄・無文・柄条文	杉ヶ平（猪苗町）	
			平底式・竹之内式	利根（白河市）	
			大平・三戸式	利根（大河町）	
			田戸下解式	西ノ岡（福島市）	
			明治置盤式	下ノ字（猪苗町）	
			常陸式	猪苗町（猪苗町）	
			野鳥・櫛木式	東川（白河市）	
			鶴羽鳥台式	歌瀬堂（六川町）	
			茅山下崩・湖山Ⅲ式	中ノ沢（郡山市）	
			常陸2式・毛面式・堅木頭式	大瀧八瀬（郡山市）	
			日向崩式・大崩式	西谷（小野町）	

	Cal.BP	年数	土器の特徴または型式	福島県の代表的遺跡	
前期	7000 ～ 5470	2530年間	上川名式	上田郷VI（広野町）	集落の大型化
			宮田郷群	御子子（猪苗町）	
			大木1式	御子子（猪苗町）	
			大木2式	御子子（猪苗町）	狩猟穴の普遍化
			大木2b式	宇輪台（猪苗町）	
			下ノ字（猪苗町）		
中期	5470 ～ 4120	1859年間	大木3式	黒沢（会津美里町）	漆工技術の進歩
			大木4式	十五塙（会津美里町）	
			大木4式	下谷（会津美里町）	
			大木5式	下谷（会津美里町）	
			大木6式	青宮（会津美里町）	
			大木7a式	太平・後園（福島市）	縄状施設の出現
			大木7b式	日向崩（猪苗町）	
			大木8a式	法正式（猪苗町・猪崎町）	狩猟穴群エリゴの出現
			大木8b式	本郷原（会津若松市）	
			大木8b式	石生前（柳津町）	
後期	4120 ～ 3229	1100年間	大木9a式	弓手原A（福島市）	地方間交流の活発化
			大木9b式	前原（柳津町）	
			大木9b式	保原（猪苗町）	
			大木9c式	宮代（猪苗町）	
			大木10a式	黒沢（二本松市）	
			大木10b式	和台（福島市）	
					遺跡開拓率の出現

	Cal.BP	年数	土器の特徴または型式	福島県の代表的遺跡	
後期	4120 ～ 3229	1100年間	越前輪2群	猪苗町（猪苗町）	
			鏡本・北・本郷式	鏡本（猪苗町）	
			鏡1式	本郷中筋（郡山市）	
			鏡2式	磐原A（三春町）	土器粗魯域の出現
			大木式・鏡之内式	磐原B（磐谷町）	
			鏡2式・宝ヶ崎1式	三夜鐘（磐谷川町）	
			宝ヶ崎2式	西沼（郡山市）	
			宝ヶ崎3式	利根（猪苗町）	
			大木7a式	上岡（猪苗町）	
			大木7b式	又兵衛山（磐谷川町）	
終期	3229 ～ 2350	870年間	新地1式	小峯（猪苗町）	工芸技術の進化
			新地2式	田子平（猪苗町）	複雑性の増大
			新地3式	磐原坂（猪苗町）	
			新地4式	磐原坂（猪苗町）	
			大網式	磐谷C（猪苗町）	
			大網2式	磐谷D（猪苗町）	
			大網3式	磐谷E（猪苗町）	
			大網4式	磐谷F（猪苗町）	
			大網5式	磐谷G（猪苗町）	
			大網6式	磐谷H（猪苗町）	
			大網7式	下谷ヶ原E（会津美里町）	



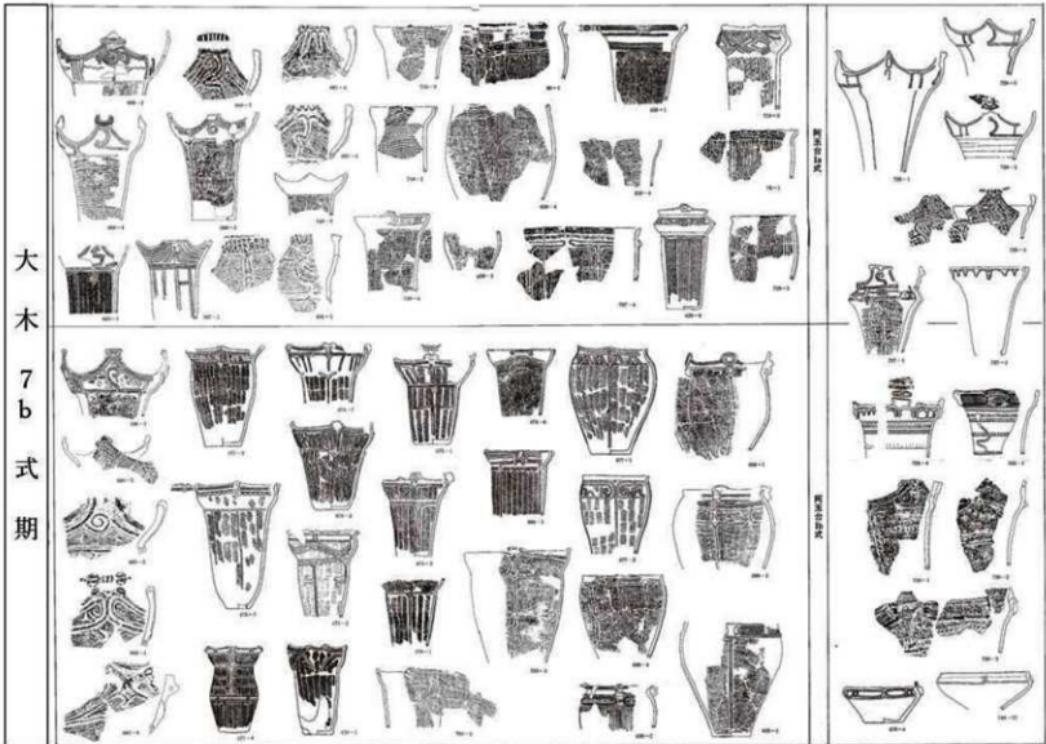
大木式期 7a



法正尻遺跡から出土した縄文中期前半の土器群（1）
「東北横断自動車道遺跡調査報告 11」
(福島県教育委員会ほか一九九一)付図4に加筆

法正尻遺跡から出土した縄文中期前半の土器群（2）

「東北横断自動車道遺跡調査報告 11」
（福島県教育委員会ほか一九九一）付図4に加筆



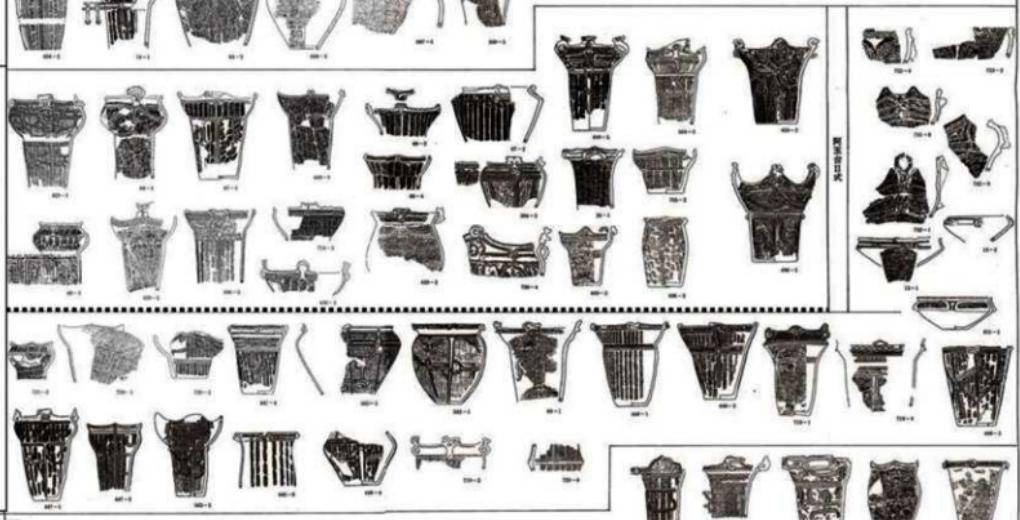
法正尻遺跡から出土した縄文中期前半の土器群（3）

「東北横断自動車道遺跡調査報告 11」
（福島県教育委員会ほか一九九一）付図5に加筆

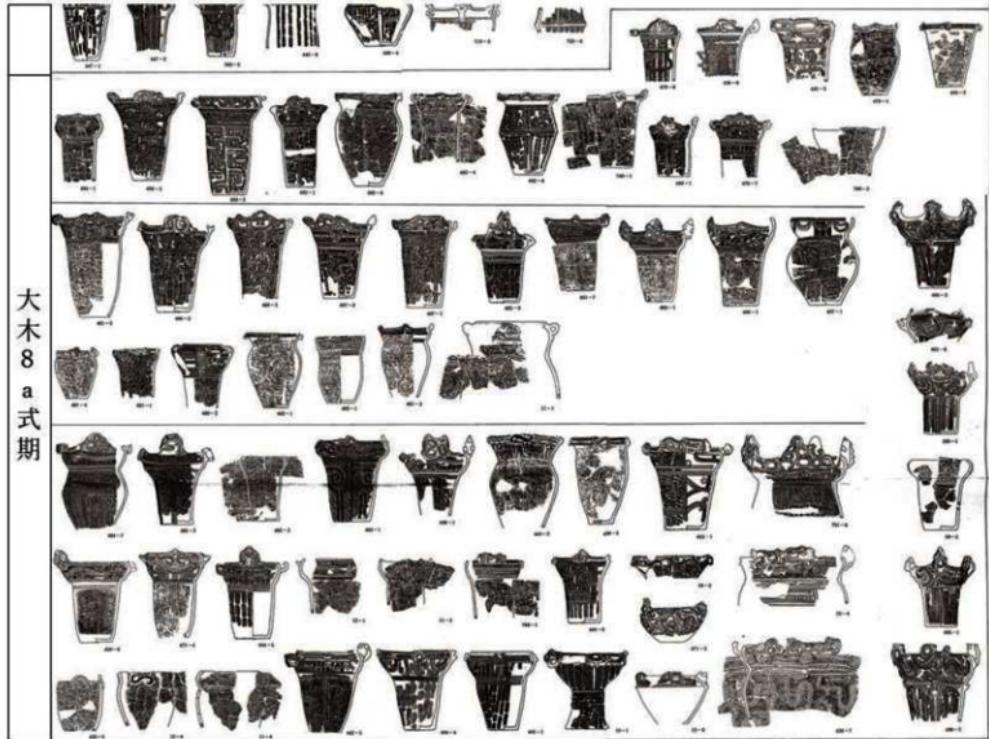
大木7b式期



大木7b-8a式期



大木8 a式期



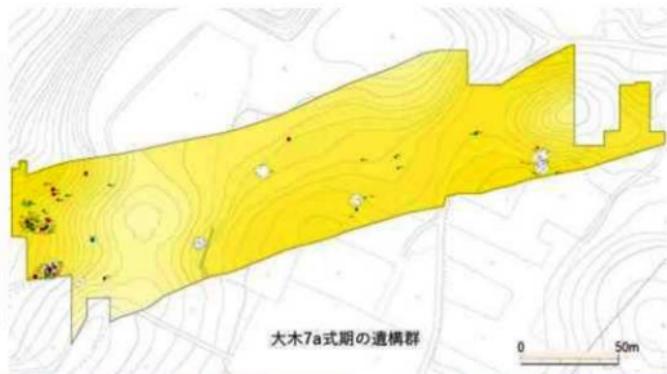
法正尻遺跡から出土した縄文中期前半の土器群（4）

「東北横断自動車道遺跡調査報告11」
(福島県教育委員会ほか一九九一)付図5に加筆

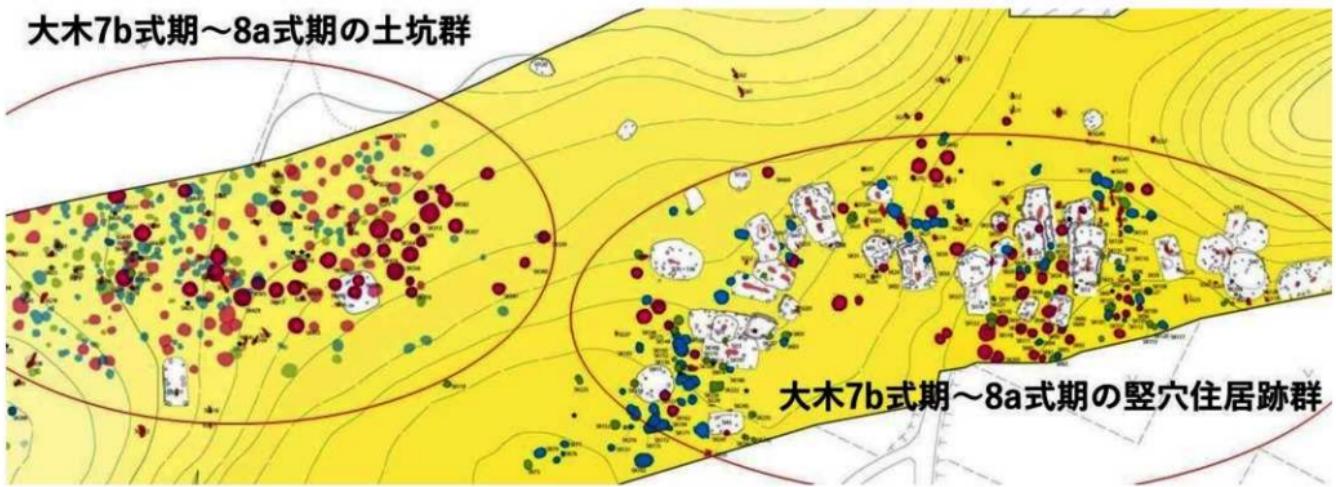
2 各時期における遺構群の立地

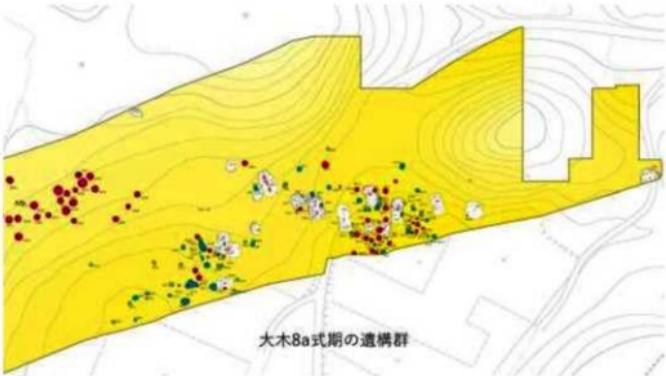
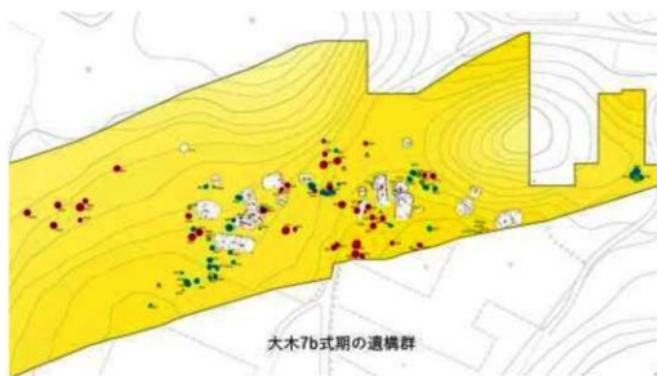


『東北横断自動車道遺跡調査報告11』付図1（福島県教育委員会ほか1991）に加筆

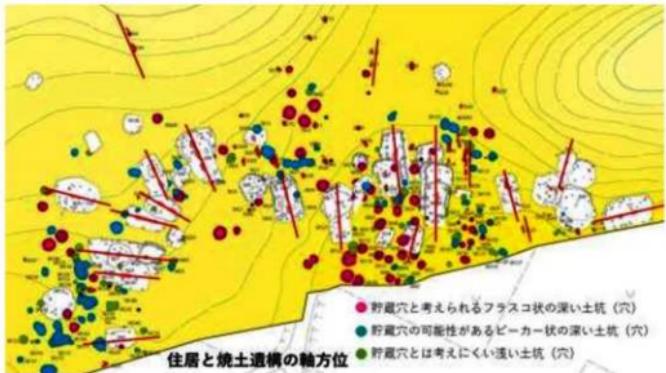
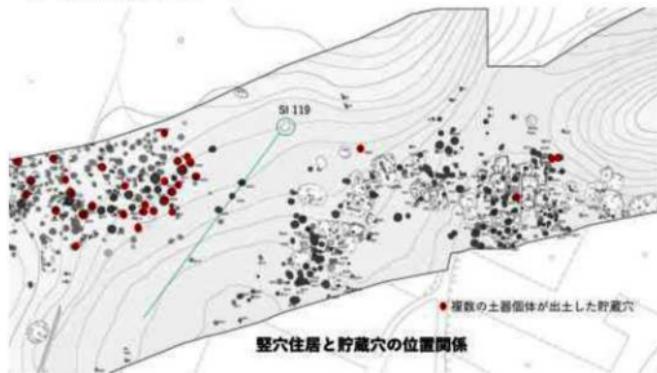


大木7b式期～8a式期の土坑群





3 集落を維持したルール



第3部 討論

法正尻遺跡関連文化財セミナー【法正尻遺跡の集落構成】

2021年2月27日 福島県文化財センター白川館

第3部 討論

松本 茂・本間 宏

論点1 壺穴住居の占地と継続性

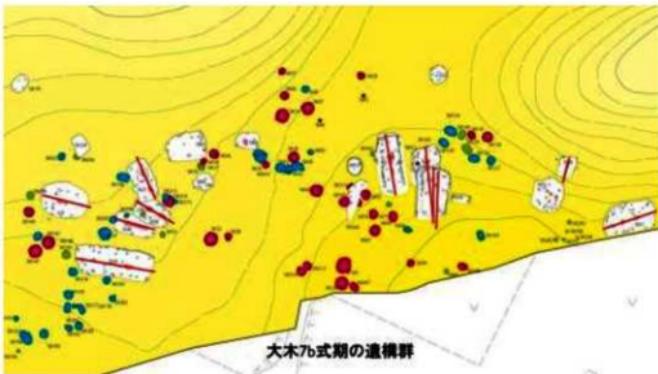
論点2 屋内炉と屋外炉の関係

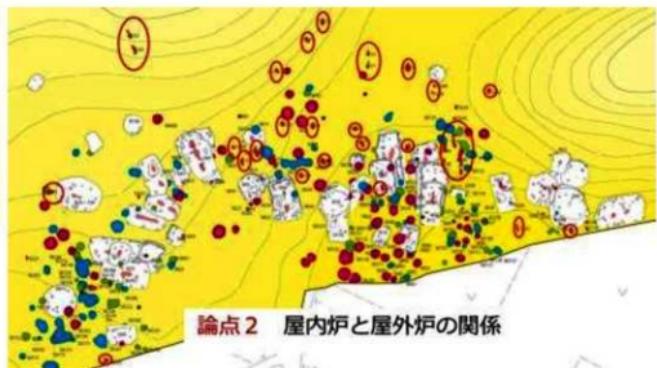
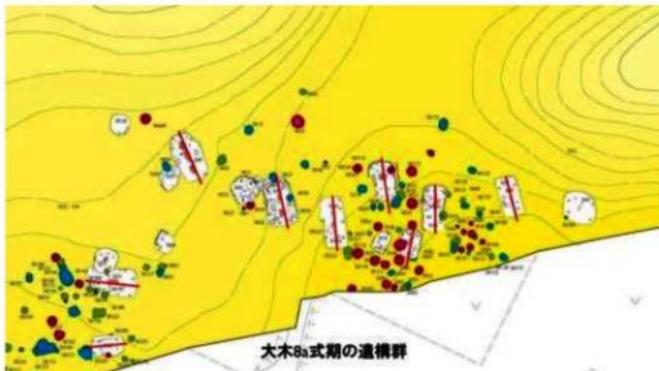
論点3 食料の共同管理・世帯管理の可能性

論点4 墓坑の分布域とその特徴

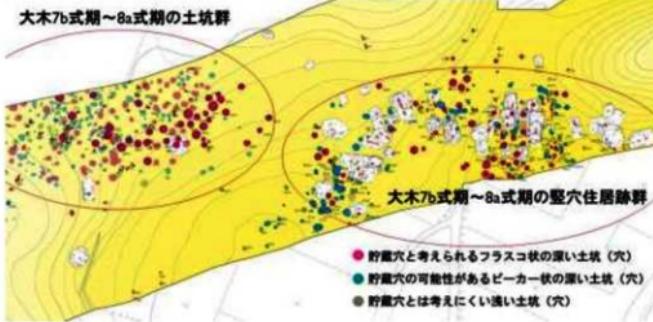
論点5 集落構成の特質

—西田・西海渕・本能源・法正尻・五丁歩・満水上、そして妙音寺・堂後—

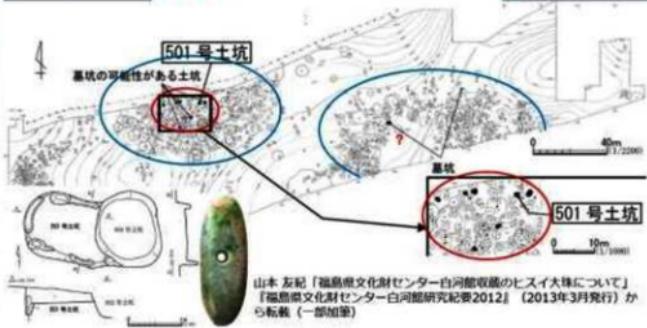




論点3 食料の共同管理・世帯管理の可能性

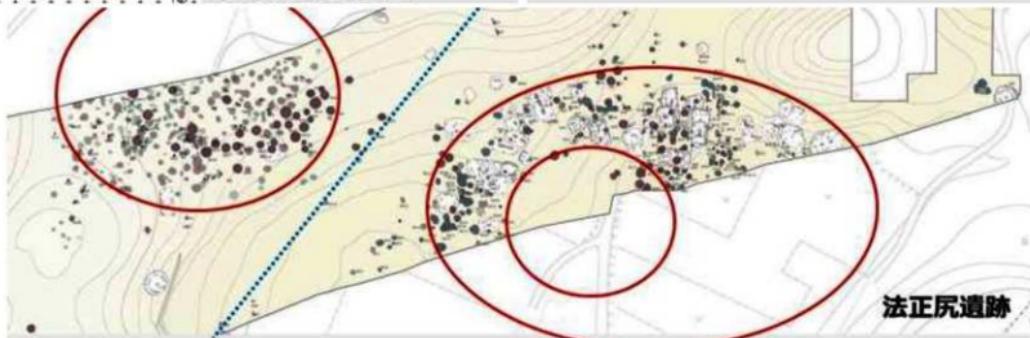
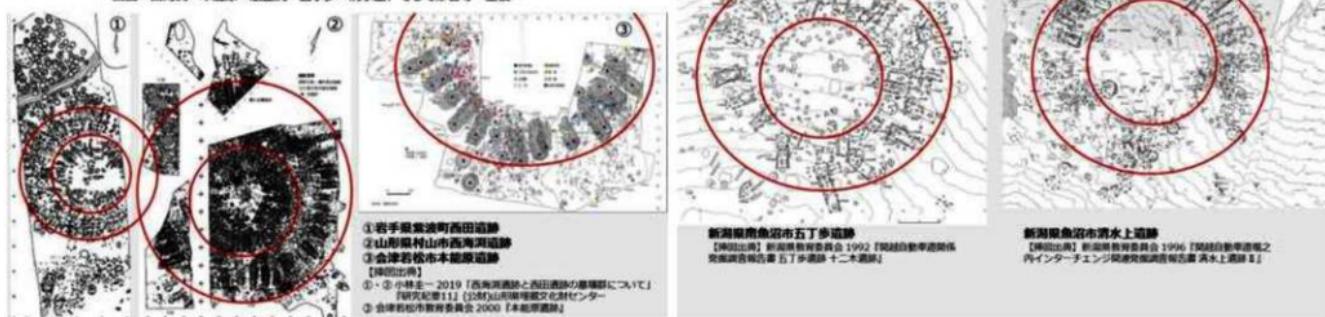


論点4 墓坑の分布域とその特徴



論点5 集落構成の特質

—西田・西南海・本能原・法正尻・五丁歩・清水上、そして妙音寺・堂後—



法正尻遺跡

貯蔵穴群エリアの独立 ······ 共有保存食料管理区域か

貯蔵穴群エリアと墓壙群の重複 ··· 日常的起居空間との間に結界が存在する可能性
墓壙群の被葬者は共有保存食料の管理権者か
郡山市妙音寺遺跡・堂後遺跡の貯蔵穴群も同様か